

郷中取締書

相極申郷評之事

一 当郷者御由緒有之^ニ付、農間^ニ者文武之道常々可心懸筈之処、無其儀相暮し自然御聞込^ニ相成候而ハ、御由緒之瑕瑾^ニも相成候^ニ付、今般相改諸事俟約せしめ、武芸等者最寄村方組々^ニ而会稽古致シ、忠勤相励候様一同心掛ケ可申事

一 去ル五年差上置候雛形之通り、武器装束等弥以相整居候哉御尋も有之、依之行届相整有之村方者大切^ニ致し置、尚又不行届之村^ニ者早々相整置、何時御用等被仰附候而も差支無之様可仕事

一 近年郷惣代^ニ罷出候者之内^ニハ、郷中へ無沙汰勝手^ニ外御用相勤、又ハ外用向江郷名を以猥^ニ印形致し候者も有之、郷中不取締^ニ附、以来右躰郷中より不相頼惣代等勝手^ニ相勤、且出入差添等致候者有之^(二脱)おひてハ、聊無用捨急度取締可申事

一 博奕賭之諸勝負等之儀八決而仕間敷候、近来取締方相弛候村方も有之哉^ニ付、已来村々役人共より厳敷相制可申筈、若万一村役人等心得違之者も有之、取締方相弛候村方も有之^(二脱)おゐてハ、隣村并組合役人共より相互^ニ遂穿鑿、心得違無之様急度取締可申事

右之通今般一同取締候上者、相互^ニ不行届之儀無之様可仕筈、為連印依而如件、

安政四年

長殿村庄屋

巳二月 日

平 岡 源蔵 印

沼田之原村庄屋

辻村重左衛門 印

小川村庄屋代年寄

木村作左衛門 印

宇宮原村庄屋

大方源左衛門 印

谷瀬村庄屋

吉村 安兵衛 印

(中略)

迫西川村年寄

松木平庄太郎 印

上湯野川村庄屋代

田 中 周平 印

大谷村庄屋代

今 中 勝蔵 印

今西村庄屋

植杉源右衛門 印

右之通九通相認、 吉通千石箱江相納、 残八通者吉組吉通宛所持致候事